



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月10日

上場会社名 マイクロ波化学株式会社 上場取引所 東
コード番号 9227 URL https://mwcc.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 吉野 巖
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 田中健作 TEL 06-6170-7595
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	238	△30.3	△262	—	△263	—	△288	—
2023年3月期第2四半期	342	—	△72	—	△103	—	△105	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△18.75	—
2023年3月期第2四半期	△7.32	—

(注) 1. 2022年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,106	1,446	46.6
2023年3月期	3,077	1,706	55.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,446百万円 2023年3月期 1,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,846	51.9	40	△32.0	33	27.8	89	18.9	5.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	15,440,200株	2023年3月期	15,357,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	15,391,650株	2023年3月期2Q	14,385,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、第2四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

製造業の中でも化学産業は、原料や素材を担う産業として経済の発展を支えてきました。しかしながら、多くの製品や製法にイノベーションが起こる中、同産業は長きにわたってその登場からほとんど姿を変えておらず、現在も未だ重厚長大のエネルギー大量消費型のプロセスが多く残っています。

当社は、「何を作るか」ではなく「どのように作るか」に着目し、製造プロセスを化石資源由来の「熱と圧力」から電気由来の「マイクロ波」に置き換えることで、「省エネルギー」・「高効率」・「コンパクト」な環境対応型プロセスのグローバルスタンダード化を目指す技術プロバイダーです。

当社は、「デザイン力」及び「要素技術群」からなる技術プラットフォームを駆使して、顧客課題に応じて、ラボ開発、実証開発といった研究開発フェーズから、実機製作、製造支援といった事業フェーズまでをワンストップでソリューションとして提供しております。現在では、食品添加物、医薬品、炭素素材、電子材料などの幅広い分野において研究開発のパイプライン拡充及び積極的な事業開発活動を行っております。

近年、地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、「カーボンニュートラル」を目指す動きが世界的に加速しております。わが国でも2020年10月、臨時国会で「2050年カーボンニュートラル」が宣言されたことを受け、経済産業省により2兆円のグリーンイノベーション基金が造成されるなど、二酸化炭素排出の削減を経営課題として取り組む企業等に対して、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援を行う機運が高まっております。

マイクロ波プロセスは、従来の「外部から」「間接的」「全体」にエネルギーを伝達するプロセスに対して、「内部から」「直接的」「ターゲットした物質」に効率的にエネルギーを伝達することが可能であり、エネルギー削減を実現することができます。さらに、2000年代以降、安価、かつ発電量が増えてきた自然エネルギー由来の電気と組み合わせた「電化」のプロセスとして大幅な二酸化炭素削減が可能であるため、カーボンニュートラル実現に向けた有望なキーテクノロジーとして注目されております。

とりわけ、廃プラスチックを基礎化学原料へ戻してから再重合し新品同様のプラスチックを再生産する「ケミカルリサイクル」の領域においては、マイクロ波を活用したプラスチック分解技術プラットフォームである「PlaWave」を積極的に展開し、多種多様なプラスチックを対象とした共同開発を、複数の化学企業と行っております。

また、このほか、当事業年度に着手した主要な開発プロジェクトとしては、下記が挙げられます。

- (1) 電気自動車 (EV) の電池等に用いられるリチウムについて、その製錬におけるCO2排出の主要因となっている煅焼のプロセスを電化し、環境負荷の低い、世界初となるマイクロ波を利用した製錬技術を確認すべく、パイロット実証を開始。
- (2) 基礎化学品生産プロセスであるナフサクラッキング技術において、従来法のエネルギー源である化石燃料をマイクロ波加熱に転換することによりCO2排出量の大幅な削減を可能とする当社独自技術である「M-Cracker」の社会実装を目指す共同開発を開始。
- (3) マイクロ波プロセスを適用することにより、従来法と比較して経済性及び生産性の向上が見込まれるエラストマー製造プロセスの実証開発の開始。
- (4) 光の透過率が高く、優れた視認性と導電性を両立させた薄膜で透明導電フィルムの材料として注目される銀ナノワイヤーについて、従来法と比較して高品質な製品を開発、サンプル提供を開始。
- (5) 顧客がマイクロ波プロセスの実機導入を見据えた検討 (フィージビリティスタディ) を行うことを目的として、当社が培ってきたスケールアップのノウハウを活かし開発したマイクロ波ラボ装置「M-block」の販売開始。

このような「カーボンニュートラル」に貢献する開発テーマを中心に、新規案件の獲得活動に注力したほか、ラボフェーズに続いて実証フェーズに進んだ案件の開発を着実に進めた結果、当第2四半期会計期間末時点では、新規案件獲得数は通期計画28件に対して16件、契約済みの案件総数は通期計画65件に対して44件 (うち21件は当第2四半期累計期間に売上計上) となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高238,762千円 (前年同期比30.3%の減少)、営業損失は262,646千円 (前年同期は72,080千円の営業損失)、経常損失は263,330千円 (前年同期は103,848千円の経常損失)、四半期純損失は288,638千円 (前年同期は105,273千円の四半期純損失) となりました。

また、当社は、マイクロ波化学関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は3,106,165千円となり、前事業年度末に比べ28,764千円増加しました。これは主に、仕掛品が297,402千円、その他流動資産が98,072千円それぞれ増加したのに対し、現金及び預金が90,794千円、売掛金が280,911千円減少したことによるものであります。

負債合計は1,659,666千円となり、前事業年度末に比べ288,312千円増加しました。これは主に、契約負債が317,380千円増加したのに対し、未払法人税等が17,333千円減少したことによるものであります。

純資産は1,446,498千円となり、前事業年度末に比べ259,547千円減少しました。これは、資本金及び資本剰余金がそれぞれ14,545千円増加したのに対し、利益剰余金が288,638千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ90,794千円減少し1,155,475千円となりました。

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの概況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、47,757千円の支出（前年同期は135,540千円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純損失284,479千円、棚卸資産の増加額297,402千円、その他△134,640千円を計上したのに対し、減価償却費38,569千円、売上債権の減少額280,911千円、契約負債の増加額317,380千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、62,159千円の支出（前年同期は31,884千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出40,237千円、有形固定資産の除却による支出21,000千円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、19,122千円の収入（前年同期は908,953千円の収入）となりました。これは主に、株式の発行による収入29,091千円を計上したのに対し、リース債務の返済による支出9,968千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、今後の状況の変化により、業績予想の修正が必要になった場合、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,246,269	1,155,475
売掛金	336,689	55,778
仕掛品	34,358	331,761
その他	288,463	386,536
流動資産合計	1,905,781	1,929,551
固定資産		
有形固定資産		
リース資産 (純額)	335,309	325,341
その他 (純額)	315,676	335,246
有形固定資産合計	650,985	660,588
無形固定資産	10,357	8,609
投資その他の資産		
関係会社株式	319,444	319,444
その他	190,831	187,972
投資その他の資産合計	510,275	507,416
固定資産合計	1,171,618	1,176,614
資産合計	3,077,400	3,106,165

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,958	87,764
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	27,506	10,173
契約負債	407,850	725,230
その他	144,667	121,094
流動負債合計	845,981	1,144,261
固定負債		
長期借入金	210,000	210,000
リース債務	315,373	305,405
固定負債合計	525,373	515,405
負債合計	1,371,354	1,659,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801,053	2,815,598
資本剰余金	502,607	517,152
利益剰余金	△1,597,614	△1,886,252
株主資本合計	1,706,045	1,446,498
純資産合計	1,706,045	1,446,498
負債純資産合計	3,077,400	3,106,165

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	342,684	238,762
売上原価	77,236	53,471
売上総利益	265,448	185,291
販売費及び一般管理費	337,528	447,937
営業損失(△)	△72,080	△262,646
営業外収益		
受取利息	2	86
受取褒賞金	1,000	265
為替差益	—	2,167
その他	122	633
営業外収益合計	1,124	3,152
営業外費用		
支払利息	3,936	3,836
上場関連費用	28,955	—
営業外費用合計	32,892	3,836
経常損失(△)	△103,848	△263,330
特別損失		
固定資産除却損	0	21,149
特別損失合計	0	21,149
税引前四半期純損失(△)	△103,848	△284,479
法人税、住民税及び事業税	1,425	1,425
法人税等調整額	—	2,733
法人税等合計	1,425	4,158
四半期純損失(△)	△105,273	△288,638

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△103,848	△284,479
減価償却費	35,743	38,569
受取利息	△2	△86
支払利息	3,936	3,836
固定資産除却損	—	21,149
売上債権の増減額 (△は増加)	48,289	280,911
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△56,531	△297,402
仕入債務の増減額 (△は減少)	589	21,806
契約負債の増減額 (△は減少)	205,543	317,380
その他	8,604	△134,640
小計	142,324	△32,956
利息及び配当金の受取額	2	6
利息の支払額	△3,936	△3,836
法人税等の支払額	△2,850	△10,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,540	△47,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,884	△40,237
有形固定資産の除却による支出	—	△21,000
無形固定資産の取得による支出	△949	△500
差入保証金の差入による支出	△50	△422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,884	△62,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,000	—
株式の発行による収入	968,921	29,091
リース債務の返済による支出	△9,968	△9,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	908,953	19,122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,012,609	△90,794
現金及び現金同等物の期首残高	220,528	1,246,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,233,138	1,155,475

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、マイクロ波化学関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。